

# 2019年度第3四半期 業績の概要

2020年2月14日

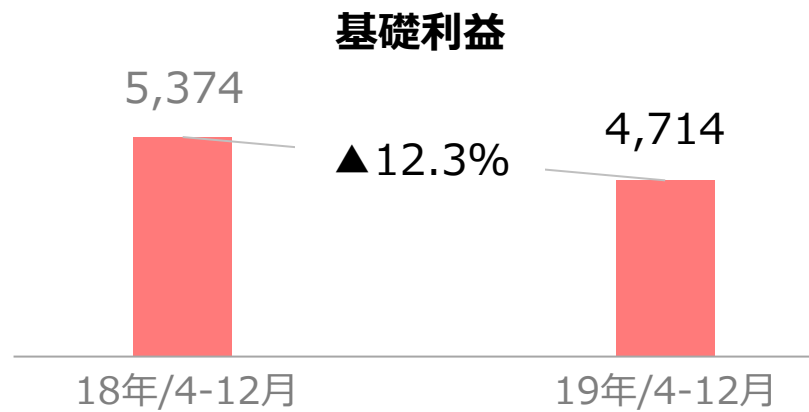
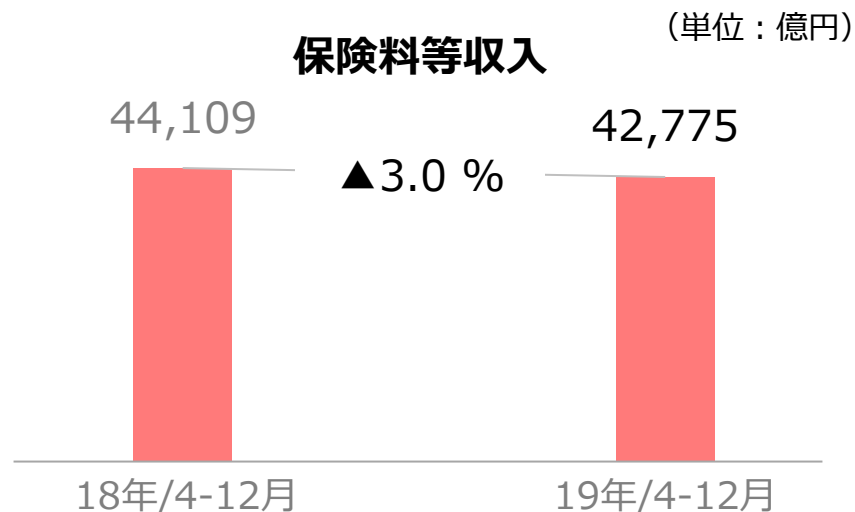
日本生命保険相互会社  
Nippon Life Insurance Company

## 1 グループ概況

## 2 国内生命保険事業

【参考】グループ各社の概況

- 2019年度第3四半期決算の連結業績は、前年同期比で減収・減益。
- 保険料等収入は、外貨建保険商品の販売及び団体年金保険の減少を主因に減少。
- 基礎利益は、保険料率改定の影響を主因に減少。
- MLC Limited（以下MLC）の業績悪化に伴うのれんの減損損失298億円を計上。

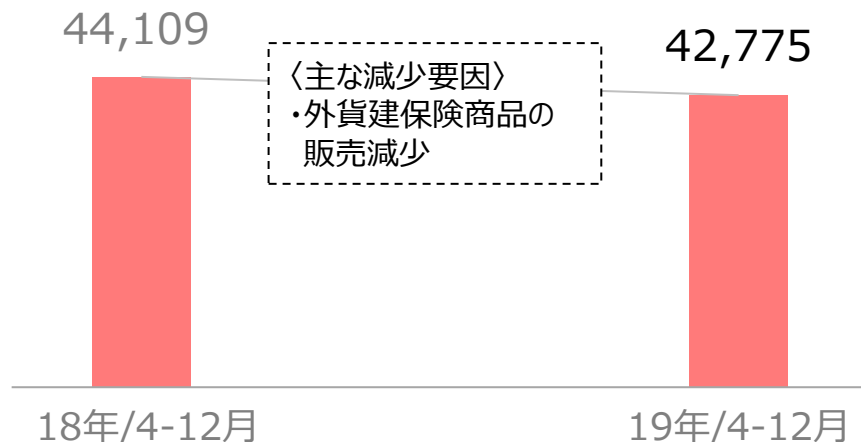


※ はなさく生命を2019年度第1四半期から連結反映（以降同様）

- 海外金利低下により、外貨建保険商品の販売が減少したことや団体年金保険の減少を主因に減収。
- 一方で、ニッセイ・ウェルス生命では、生存保障重視タイプの商品や介護保障付商品の販売増加等により、保険料等収入は増加。

## 保険料等収入

(単位：億円)

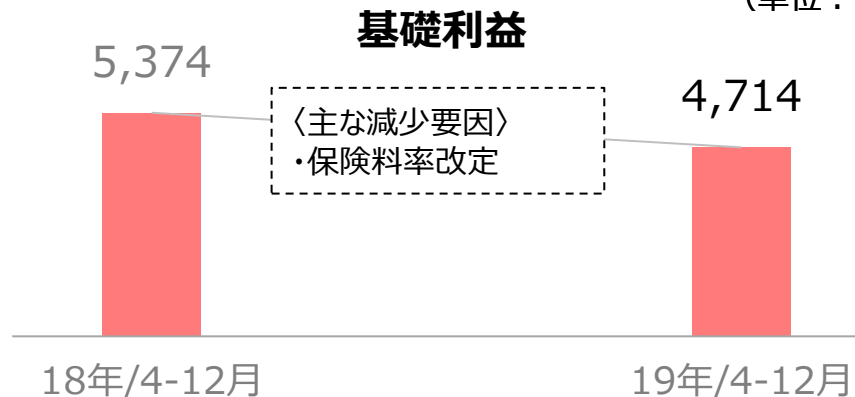


	2019年 4-12月	前年同期比
保険料等収入	42,775	▲3.0%
日本生命	33,703	▲2.2%
大樹生命	5,023	▲14.1%
ニッセイ・ウェルス生命	2,402	+17.2%
MLC	1,342	▲8.3%

※ 合計値は連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、MLC、米国日生を対象に算出）

- 保険料率改定の影響を主因に減益。
- また、円高による外国債券利息等の減少や、MLCでの所得補償保険の支払増加により減少幅が拡大。
- 大樹生命では、海外金利の低下によって、外貨建保険の最低保証に係る責任準備金の繰入が増加。
- はなさく生命は開業に伴う初期投資により▲57億円。

(単位：億円)

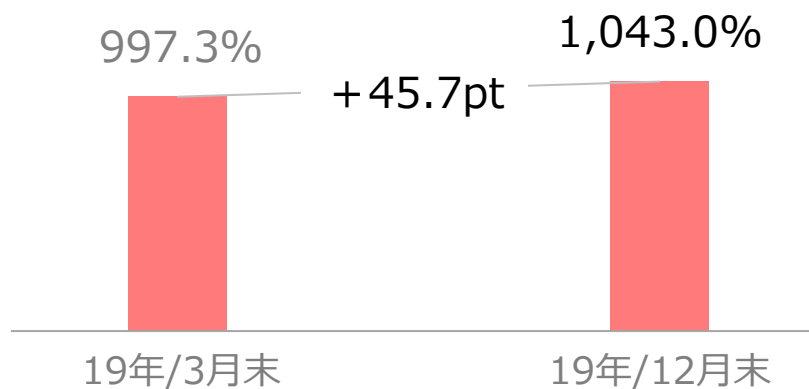


	2019年 4-12月	前年同期比
基礎利益	4,714	▲12.3%
日本生命	4,293	▲8.3%
大樹生命	217	▲30.7%
ニッセイ・ウェルス生命	197	▲1.8%
MLC	▲28	▲132.8%
はなさく生命	▲57	-

※ 合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社及び国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出

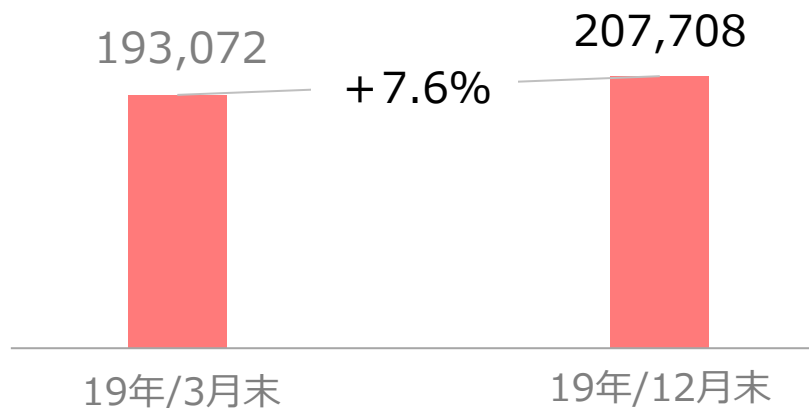
- ソルベンシー・マージン比率は、諸準備金等の積増や劣後ローン調達を通じて、自己資本を着実に積増したこと等により前年度末から増加。
- 実質純資産は、自己資本の積増に加え、株高等により有価証券の含み益が増加したことを主因に前年度末から増加。

### ソルベンシー・マージン比率



### 実質純資産

(単位：億円)



## 損益計算書

- 経常利益及び四半期純剰余は前年同期比で減少。

(単位：億円)

	2019年 4-12月	前年同期比
経常収益	59,342	▲0.6%
保険料等収入	42,775	▲3.0%
資産運用収益	14,174	+5.7%
経常費用	57,204	+2.0%
保険金等支払金	33,469	▲0.5%
責任準備金繰入額	12,382	+19.4%
資産運用費用	2,590	▲24.2%
事業費	6,057	▲0.2%
経常利益	2,137	▲40.5%
(基礎利益)	4,714	▲12.3%
特別損失	1,065	▲16.3%
減損損失 <sup>※</sup>	324	+1,921.0%
四半期純剰余(利益)	1,475	▲29.4%

※ MLCの業績悪化に伴うのれんの減損損失298億円を含む

## 貸借対照表

- 総資産・責任準備金ともに、前年度末から増加。

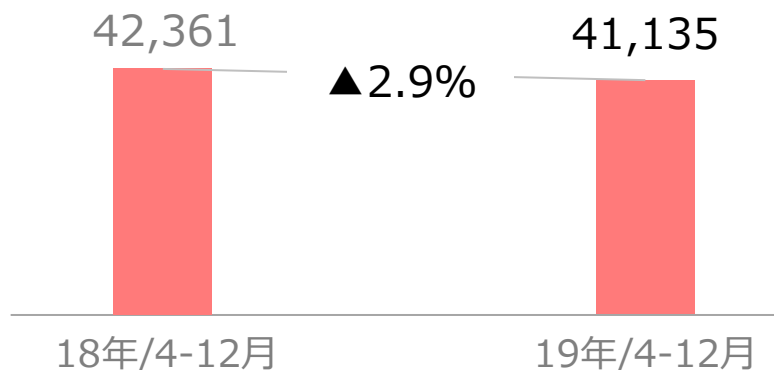
(単位：億円)

	2019年 12月末	前年度末比
総資産	819,341	+4.0%
うち有価証券	672,983	+4.4%
うち貸付金	84,831	▲0.3%
うち有形固定資産	19,100	+0.1%
負債	741,008	+3.2%
うち保険契約準備金	667,109	+1.9%
うち責任準備金	653,147	+1.9%
うち価格変動準備金	15,272	+4.6%
純資産	78,333	+12.3%

- 国内における保険料等収入は減少。
- 営業職員等チャンネルは、海外金利の低下による大樹生命での一時払外貨建養老保険の販売減少を主因に減収。
- 銀行窓販チャンネルは、ニッセイ・ウェルス生命の生存保障重視タイプの商品や介護保障付商品の販売増加等により増収。
- また、団体保険・団体年金保険は減収。

### 保険料等収入（国内計）

（単位：億円）



	2019年 4-12月	前年同期比
保険料等収入（国内計）	41,135	▲2.9%
うち個人保険・個人年金保険	29,219	▲4.0%
営業職員等チャンネル	23,886	▲6.4%
銀行窓販チャンネル	5,332	+8.4%
うち団体保険	2,012	▲6.9%
うち団体年金保険	8,589	▲6.9%

※ 日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の合計値



- 国内の個人保険・個人年金保険の年換算保険料は法人向け商品の販売減少を主因に減少。また、保障額等は、大樹生命の外貨建保険商品の販売減少により前年同期比で減少。
- 一方、件数については、日本生命での新商品「入院総合保険“NEW in 1”」(2019年4月発売)の好調な販売に伴う保障見直しの増加により前年同期比で増加。

(単位：億円、万件)

### 個人保険・個人年金保険

	年換算保険料		件数		保障額等	
	2019年 4-12月	前年同期比	2019年 4-12月	前年同期比	2019年 4-12月	前年同期比
国内計	3,108	▲12.1%	399	+1.4%	70,161	▲5.1%
営業職員等チャネル	1,831	▲19.0%	391	+1.6%	64,212	▲5.3%
銀行窓販チャネル	1,277	▲0.0%	8	▲7.6%	5,948	▲3.3%
日本生命	1,843	▲12.2%	379	+1.6%	61,757	▲1.3%
大樹生命	256	▲36.6%	14	▲21.8%	6,235	▲27.7%
ニッセイ・ウェルス生命	987	▲4.3%	2	+17.1%	2,168	▲22.3%

※ 国内計・チャネル別内訳は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の合計値

- 国内の個人保険・個人年金保険の保有契約は、年換算保険料、件数は増加、保障額等は減少。
- 団体保険・団体年金保険は増加。

(単位：億円、万件)

### 個人保険・個人年金保険

	年換算保険料		件数		保障額等	
	2019年 12月末	前年度末比	2019年 12月末	前年度末比	2019年 12月末	前年度末比
国内計	45,433	+0.2%	3,581	+2.9%	1,800,782	▲1.1%
日本生命	37,616	+0.4%	3,285	+3.1%	1,578,536	▲0.9%
大樹生命	5,221	▲0.1%	260	+0.1%	190,492	▲2.8%
ニッセイ・ウェルス生命	2,575	▲2.6%	32	+2.8%	31,752	▲0.4%

### 団体保険・団体年金保険

	団体保険 (保障額等)		団体年金保険 (受託資産等)	
	2019年 12月末	前年度末比	2019年 12月末	前年度末比
国内計	1,103,641	+0.6%	172,058	+2.5%
日本生命	981,821	+1.1%	134,184	+1.8%
大樹生命	121,819	▲3.3%	7,962	▲1.7%

※ 個人保険・個人年金保険の国内計は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の合計値

※ 団体保険・団体年金保険の国内計は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命の合計値

※ 団体年金保険の国内計には、ニッセイアセットマネジメントの投資顧問残高(25,024億円)、確定拠出年金の投資信託(日本生命販社分4,874億円)を含む

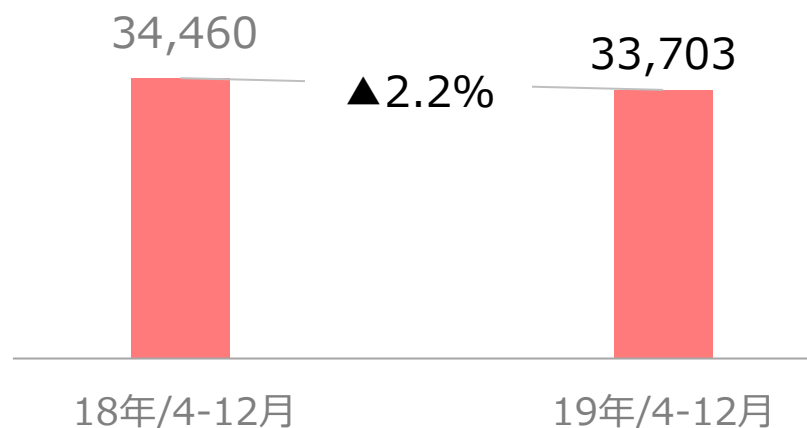
**【参考】  
グループ各社の概況**

# 【参考】日本生命（単体）：収支

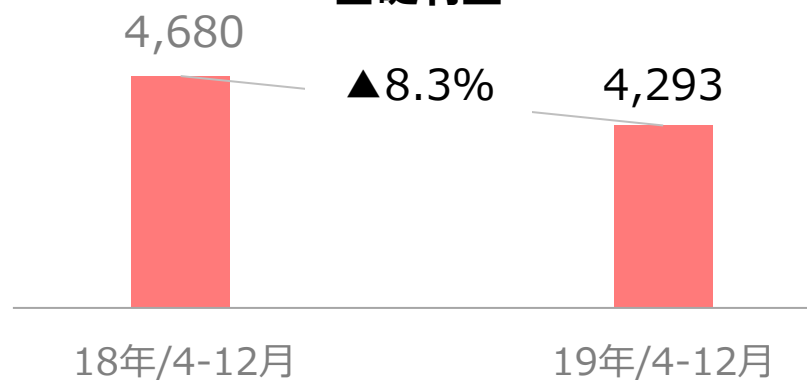
(単位：億円)

- 日本生命単体は前年同期比で減収・減益。
- 保険料等収入は、団体年金保険の減少を主因に減少。
- 基礎利益は、保険料率改定の影響や、円高による外国債券利息の減少を主因に減少。

## 保険料等収入



## 基礎利益



# 【参考】日本生命（単体）：資産運用

## 資産運用収支（一般勘定）

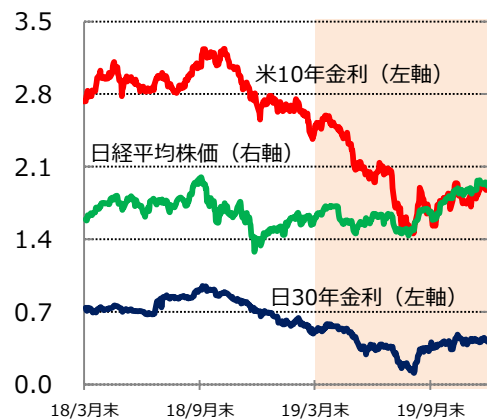
（単位：億円）

- 資産運用収支は前年同期より増加。
- 資産運用収益は、利息及び配当金等収入が減少したことを主因に減少。
- 資産運用費用は、有価証券売却損の改善を主因に減少。

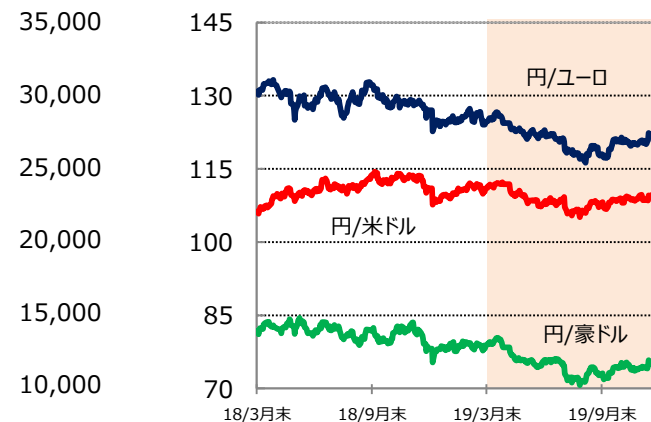
	2019年 4-12月	前年同期差
資産運用収益	11,863	▲130
うち利息及び配当金等収入	10,185	▲84
うち有価証券売却益	1,613	▲50
資産運用費用	2,299	▲324
うち有価証券売却損	293	▲767
うち有価証券評価損	198	+59
うち金融派生商品費用	989	+228
資産運用収支	9,563	+193

## マーケット状況

（単位：％）

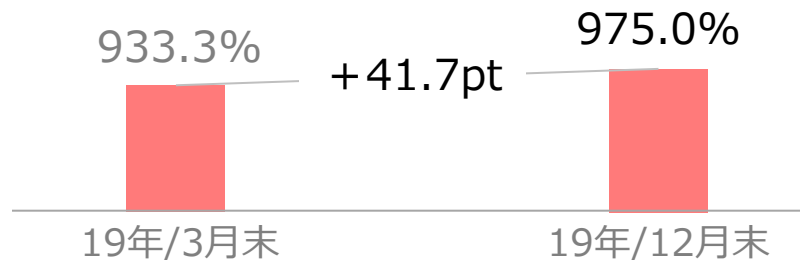


（単位：円） （単位：円）



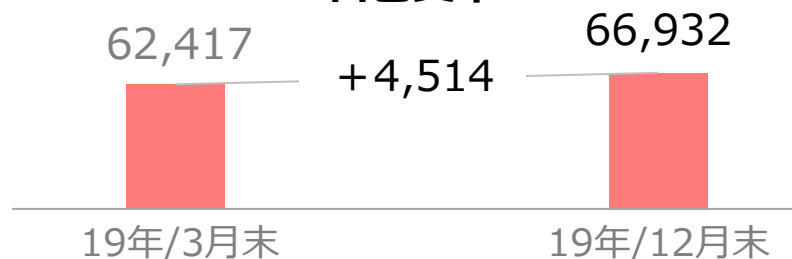
- 劣後ローン調達に加え、危険準備金・価格変動準備金の着実な積増等によって、自己資本が前年度末から増加したこと等によりソルベンシー・マージン比率は増加。
- 有価証券の含み益は、株価上昇と海外金利低下に伴い、内外株式と外国債券の含み益が増加したことを主因に前年度末から増加。

## ソルベンシー・マージン比率



## 自己資本

(単位：億円)



## 有価証券 含み損益

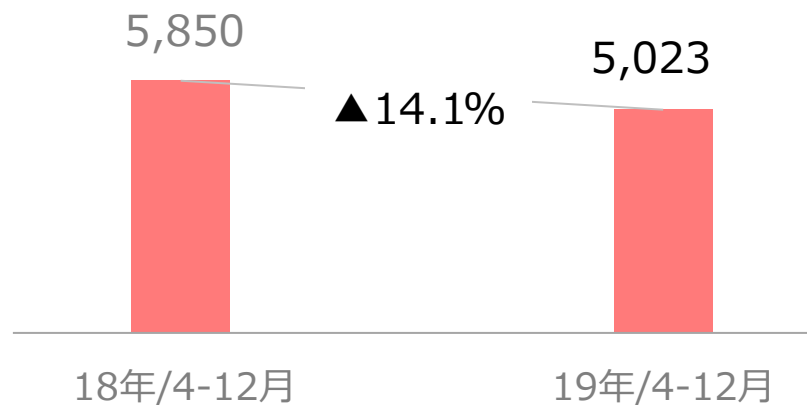
(単位：億円)

	2019年 12月末	前年度末差
時価のある有価証券	121,210	+12,237
公社債	41,963	▲ 1,026
国内株式	47,923	+6,146
外国証券	28,422	+6,907
その他	2,900	+210

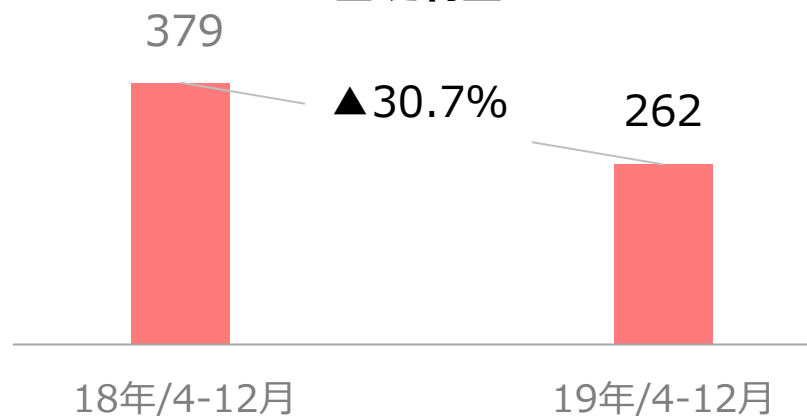
(単位：億円)

- 大樹生命は前年同期比で減収・減益。
- 保険料等収入は、海外金利の低下により一時払外貨建養老保険の販売が減少したことを主因に減少。
- 基礎利益は、保険料率改定の影響に加え、海外金利の低下によって外貨建保険の最低保証に係る責任準備金の繰入が増加したことを主因に減少。

## 保険料等収入



## 基礎利益

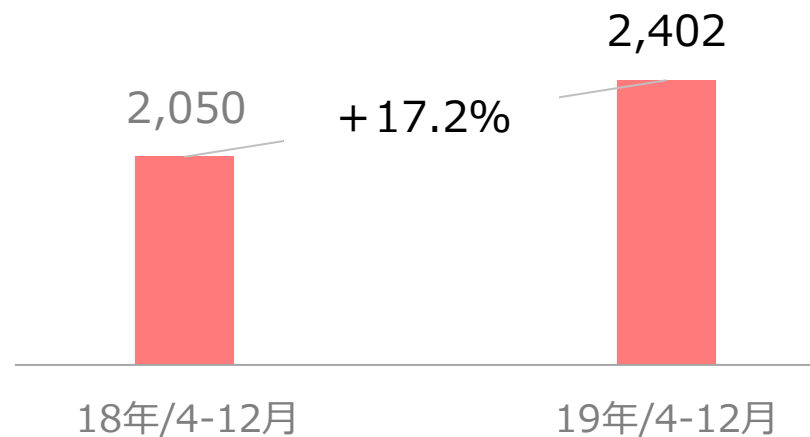


※ 単体の数値を記載

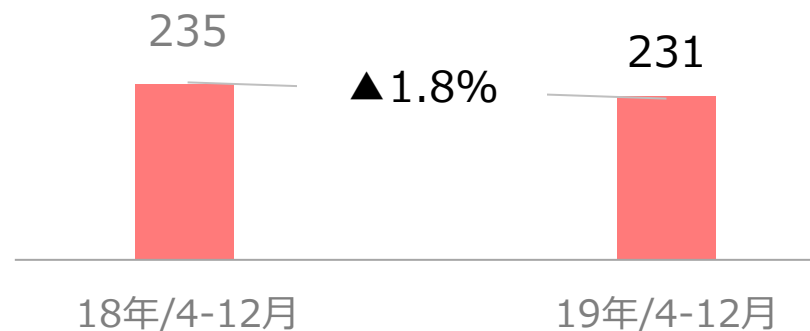
(単位：億円)

- ニッセイ・ウェルス生命は前年同期比で増収・減益。
- 保険料等収入は、生存保障重視タイプの商品や介護保障付商品等の一時払商品の販売増加を主因に増加。
- 基礎利益は、株式等の配当の減少を主因に減少。

## 保険料等収入



## 基礎利益



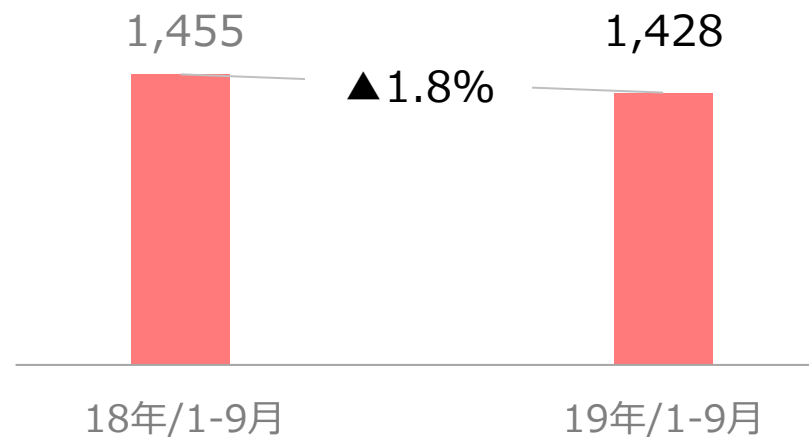
※ 単体の数値を記載



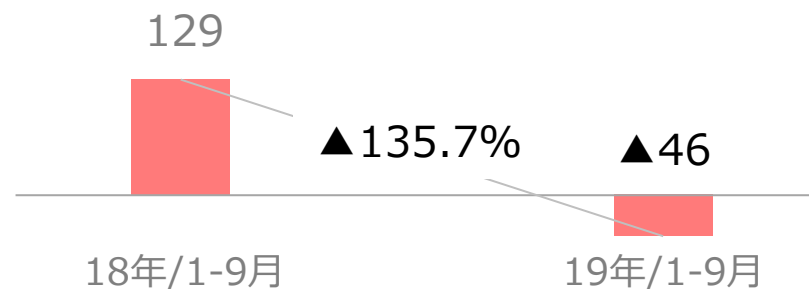
(単位：百万豪ドル)

- MLCは、前年同期比で減収・減益。
- 収入保険料は、個人保険の販売が増加した一方で、団体保険・銀行窓販が減少したことから減少。
- 基礎利益は、所得補償保険の支払費用増加を主因に減少し、46百万豪ドルの赤字。
- なお、上記業績悪化に伴う企業価値の低下により、日本生命グループの連結財務諸表上、MLCに係るのれんの減損損失298億円を計上。

## 収入保険料



## 基礎利益



- ※ 単体の数値を記載
- ※ 第3四半期決算では1-9月期を連結反映
- ※ 収入保険料は、手数料を除いた数値を記載
- ※ 基礎利益は、税引前利益から金利変動等の影響を除いた数値を記載